

英語科における授業改善について③「書くこと」

全国学力・学習状況調査で、最も大きな課題が、自分の考えや意見を表現する「書くこと」でした。先生方は、授業や家庭学習で、意図的に書く活動を取り入れていますか。授業において継続的に生徒が考えながら書く活動を取れ入れる工夫が必要です。

書くこと 設問9 語や文法事項等を理解して正しい文を書く(3)

【設問の趣旨】

与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる。

(3) 次の表の①から③は、ある女性に関する現在の情報を示しています。これらの情報を用いて、彼女について説明する英文をそれぞれ書きなさい。

3人称単数現在時制の表現

② 住んでいる都市	Rome
-----------	------



正答率

33.7%

無解答

9.0%

正答例) She lives in Rome.

こんな間違いがありました

【解答類型 3】

例) She live in Rome.

反応率15.8%

→適切に動詞を活用させて文を書くことができていない。

【解答類型 4】

例) She live is Rome.

反応率22.7%

→語順や前置詞の欠落などの語法等に誤りがあり、基本的な語や文法事項を理解して文を書けない。

【解答類型 5】

例) I live in Rome.

反応率18.3%

→問題の指示文を正しく理解できていないか、適切な動詞の選択など基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことができていない。

今までは定期考査や小テストで、問)彼女はローマに住んでいます。

She () () Rome.

問)適する形に変えなさい

She (live) in Rome.

のように答えさせることが多かったのではないのでしょうか。



一步先へ

問いかけ方で難易度が変わる

今回の調査のように、以下のような問い方で答えを書かせることも必要ではないでしょうか。

- ・住んでいた都市
- ・行ってみたい都市
- ・行ったことがある都市

いずれにせよ、**問いかけ方を変える**ことも重要です。



岡山県マスコット「いぬっち」

つまずき解消に向けた授業改善の例

岡山県マスコット「うらっち」



また、授業の中に計画的に書く時間を設定することも大切です。



学習内容の理解を深めるために、継続的に行う活動

「話すこと」の言語活動と統合

- 自分の考えや気持ちを、ペアやグループで伝えあう。
- その内容を書いてまとめる。
→自分や友達のことを表現でき、1人称と3人称の違いを見分けられる。

書く時間の確保

- 書かせる時間を十分に取る。
→1時間の授業の中で、生徒が落ち着いて書くことができる時間を設ける。

文構造を意識

- 枠を与えて、文構造を確認しながら書く。
- 枠等がない中で文構造を意識して書く。
→取り組みやすい活動から少しずつレベルを上げ、理解しながら英文を書かせていく。

コミュニケーションの目的や場面、状況のある言語活動において、様々な個別の知識を活用させて文を書かせましょう。

書いた英文の見直し(誤りの気付き)

- 生徒同士で書いたものを読み合い、誤りに気付く。
- 修正する活動に取り組む。
→児童生徒に考えさせ、自分で誤りに気付けるようにする。最後の書いたものを集め、教員が添削する。



岡山県マスコット「ももっち」